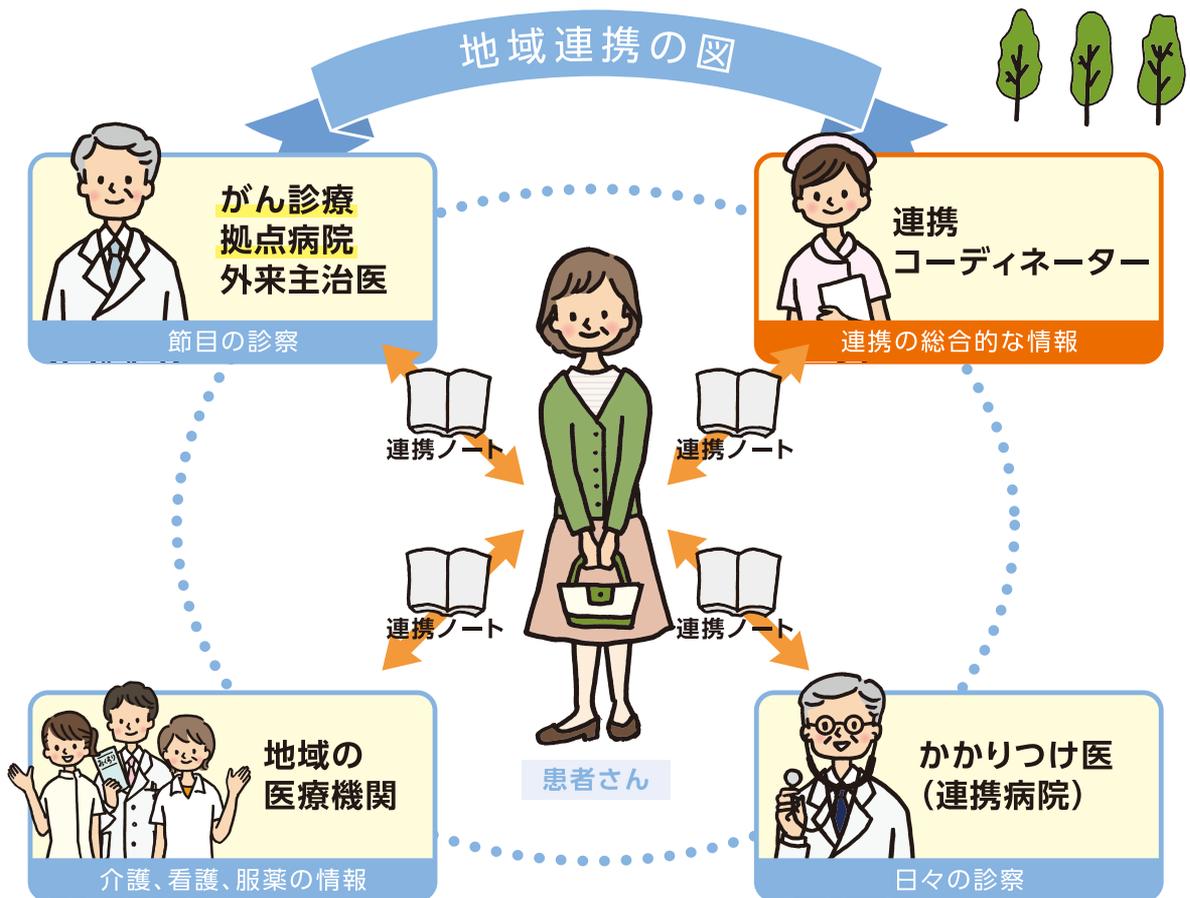


あなたを支える 地域連携 クリティカルパスの ご案内

大分県がん診療連携協議会
クリティカルパス専門部会

病院に通院する人も
近くのかかりつけ医を持ちましょう



「地域連携」とは、
患者様を中心に地域の医療機関と情報交換を行い、
より良い医療と安全を提供する仕組みです。



地域連携 クリティカルパスに ついて



がん診療拠点病院では、患者さんにわかりやすく安全で質の高い医療を目指して、地域の病院や診療所と協力して「地域連携クリティカルパス」を活用しています。

「地域連携クリティカルパス」は、

- 患者さんに納得していただいたうえで
- 患者さんも含めて、医師・看護師・薬剤師等が共同で利用できる診療体制、スケジュールを記載した表です。
- 「地域連携クリティカルパス」に基づいて主治医が2人になり、協力して診療を行います。

地域医療連携フローチャート



入院時に、
今後の医療連携について
ご相談

入院・治療

退院

連携開始

●がん診療 拠点病院の主治医:

地域連携について説明、退院前に連携先医療機関について、ご相談させていただきます。
退院後のがん診療拠点病院外来予約

●医療連携 コーディネーター担当者:

患者さんの状況を考慮したコーディネーターを開始
退院後1～6ヶ月の間に連携の具体的な方法を決定



連携ノートについて



連携ノートは

自分の身体の状態を2人の医師に知らせるために活用します。

がん診療拠点病院・かかりつけ医を受診するとき持参して下さい。

連携ノートには

- 1 地域連携クリティカルパスの説明書
- 2 具体的に決定した連携先医療機関の一覧と連絡先
- 3 知っておきたい私の診療情報
- 4 おくすり手帳、副作用の説明書
- 5 自己チェックシート(下記「患者さんが書くクリティカルパス」を参考にして下さい)等が、閉じられています。



患者さんが書くクリティカルパス

【患者さま用】乳がん術後連携パス 自己チェックシート		■アロマターゼ阻害剤											
*症状があれば欄に印を付けて下さい		1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月
自己チェック項目		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
副作用	食事が食べれない日が続いている												
	発疹があり、かゆみがある												
	関節の痛みがある												
リハビリ	腕があがらないことがある												
	腕を上げると痛みがある												
	患側の腕にむくみがある												
自己検診	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある												
	乳房にしこりがある												
	乳房の痛みがある												
その他	脇の下に固いものがふれる												

気になるときに、
気になることを
チェックしましょう



あなたも
地域連携クリティカルパスを活用して、
がん診療拠点病院と
近くの病院・診療所の2人の医師に
診てもらいましょう。



ご不明な点やご心配な点があればいつでもご相談ください。

がん診療拠点病院
大分大学医学部 総合患者支援センター
(直通番号)097-586-5250
(代表番号)097-549-4411

